

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公表番号】特表 2002-514483 (P2002-514483A)

【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)

【出願番号】特願 2000-548046 (P2000-548046)

【国際特許分類】

A 6 2 B 18/08 (2006.01)

【F I】

A 6 2 B 18/08 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 18 日 (2006.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 患者の顔に当てることができる少なくとも一つの表面部を形成したマスク本体を有する一般的な患者の非侵襲性呼吸用のカスタマイズ可能な顔 / 鼻マスクにおいて、少なくとも前記表面部に、形状記憶されていない少なくとも一つの物質を収容するチャンバーを有し、前記形状記憶されていない少なくとも一つの物質が、化学的および / または物理的な反応を起し、患者の顔の任意の型を形状記憶を有する物質へと変化することができることを特徴とする顔 / 鼻マスク。

【請求項 2】 患者の顔に当てることができる前記表面部が柔軟性要素から形成されていることを特徴とする前記請求項 1 に記載のマスク。

【請求項 3】 前記容器チャンバーが、破開可能な膜でお互い分離された第 1 区画と第 2 区画からなり、前記第 1 区画と前記第 2 区画はそれぞれ第 1 成分と第 2 成分を収容し、前記成分は互いに反応して形状記憶を有する物質となることを特徴とする前記請求項 1 または 2 に記載のマスク。

【請求項 4】 前記チャンバーは、第 2 容器と、該第 2 容器から破開可能な仕切により分離された第 1 容器とからなり、前記第 2 容器に、第 1 容器内に収容された第 1 成分と反応するのに適した第 2 成分を押し出すためにプランジャを有すること特徴とする前記請求項 1 から 3 のいずれかに記載のマスク。

【請求項 5】 前記容器チャンバーが前記柔軟性要素により範囲を決められ、外側から注入される物質を導く入口を有し、前記物質は前記チャンバーに注入されると反応して形状記憶を有する物質になるのに適していることを特徴とする前記請求項 1 から 4 のいずれかに記載のマスク。

【請求項 6】 前記物質の反応温度が 40℃ 以下であることを特徴とする前記請求項 1 から 5 のいずれかに記載のマスク。

【請求項 7】 前記少なくとも一つの物質が、形状記憶のない物質から形状記憶を有する物質へと変化する反応時間が 10 分未満であることを特徴とする前記請求項 1 から 6 のいずれかに記載のマスク。